

令和 7 年 4 月 23 日

～市民と外国人との共生社会に向けてスタート～

市役所総合案内でベトナム語、中国語、英語での案内を開始

市では、4 月よりベトナム語(1 人)、中国語(1 人)、英語、トルコ語、フランス語(1 人)が話せる外国人の会計年度任用職員を 3 人採用しました。市役所 1 階の総合案内で各課への案内や困りごとを聞き取り、関係課へのつなぎ役を担う他、文書の翻訳などを行っています。



当市の外国人住民は令和 6 年 10 月 1 日時点で 6,182 人(人口の約 2.7 パーセント)で、5 年間で約 2,200 人増加しています。また、外国人観光客も増加しており、令和 6 年度に春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」を訪れた外国人の数は前年度の約 3 倍となりました。(約 2.4 万人)

こうした現状を踏まえ、令和 6 年度、自治体シンクタンクである「かすかべ未来研究所」では「地域住民と外国人との共生における課題の研究」を行いました。外国人職員の採用は、この研究による提案の一つが実現したものです。市民の中で国籍の多い、ベトナム、中国、フィリピンの言語に対応した職員を配置し、訪れた外国人が安心して行政手続きや日常生活について、気軽に相談できるよう取り組んでいきます。職員は、「市役所の案内や、クレヨンしんちゃんを見に来る人たちをご案内できることが嬉しい」と話しています。

かすかべ未来研究所の報告内容は市ホームページで公開しています。

<https://www.city.kasukabe.lg.jp/shiseijoho/thinktank/27067.html>



問い合わせ先

【かすかべ未来研究所に関すること】

総合政策部 政策企画課

担当：内田 直通 048-736-1118

【外国人職員の採用に関すること】

市民生活部 市民参加推進課

担当：宮田 直通 048-739-6834